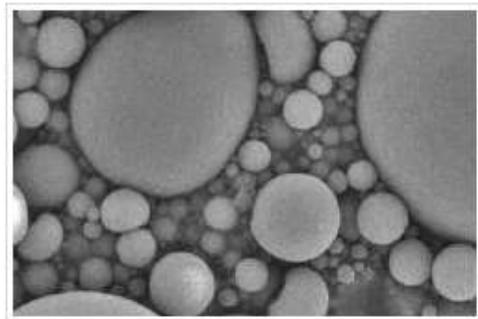


## 保険外の詰めもの・かぶせもの・義歯

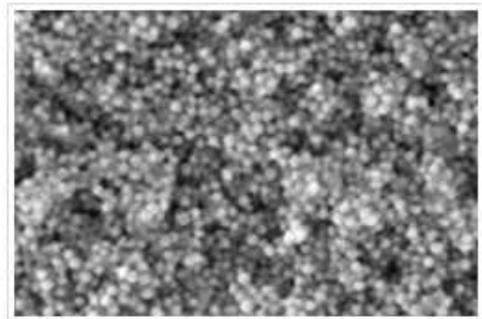
通常のメタルインレーの部分を保険適応のインレーで修復した場合、下図のような修復物と歯の境目が時間とともに目立ってしまうことがあります。ハイブリッドインレーやセラミックによるインレーであれば保険診療でのインレーに比べ強度が優れるだけでなく経年的な劣化も少なく、長期間口の中で機能してくれます。



**ハイブリッドレジン** (歯科用のプラスチック (レジン) にセラミックの粒子が補強されており耐摩耗性や吸水性、圧縮強度において保険で通常使用する材料に比べ改良されています。



約 20 年前



現在

上図はハイブリッドインレーの材料の電子顕微鏡像です。白く丸く見えるのがセラミック部分です。黒い部分はレジンです。現在のハイブリッドセラミックはセラミック部分がとても小さいので研磨性に優れ強度も従来のものに比べても優れています。

## ハイブリッドインレー (¥15,000)



長所	短所
<ul style="list-style-type: none"><li>硬すぎず軟らかすぎず、粘り強さがあるためインレー（詰め物）に適している</li><li>保険の詰め物と比べ唾液の吸収が少ない</li><li>保険の詰め物と比べ変色が少ない</li><li>適度な硬さで対合歯に優しい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>素材にプラスチックが混合されているため、年数がたつと水分などを吸収し変色しやすいので、定期的にやりかえが必要になることがある</li><li>金属のインレーに比べると耐久性はやや劣る</li></ul>

## オールセラミックインレー (¥30,000)

ニケイ酸リチウム (e-max) を主成分としたガラスセラミックで作ります。



長所	短所
<ul style="list-style-type: none"><li>透明感が高いため、セット後は装着する歯（支台歯）の色を反映し、より自然な色を再現できる</li><li>唾液の吸収がないため口臭の心配がない</li><li>変色の心配がない</li><li>天然歯と見分けがつかない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>金属のインレーに比べると耐久性はやや劣る場合がある</li><li>素材は強固だが逆に粘り強さがないため、セット中や咬合調整中に欠ける事がある（セメント固定後の強度は高い）</li></ul>

## ハイブリッドクラウン

(¥30,000) 小臼歯は保険適応

ハイブリッドレジンを用いた冠です。セラミックに比べれば強度は落ちますが、適度な粘り強さがあり、対合歯（噛みあう歯）を痛めません。ただし、長年の使用で削れることはあります。



ハイブリッドクラウン **CAD/CAM** (¥36,000) 小臼歯は保険適応  
CAD/CAM 冠（コンピューターで形を設計し、高密度のハイブリッドレジンプロックから削り出します。）



図 a



図 b

図 a は小臼歯ですが、図 b のようなレジンブロックから削り出します。通常のハイブリッド冠に比べてセラミック含有割合が多いので耐摩耗性に優れます。

## オールセラミッククラウン

① オールジルコニアクラウン (¥45,000)

臼歯部や臼歯部ブリッジの症例の場合

歯の切削量を抑え金属にも勝る曲げ強度を備えた材料です。

前歯部以外は適応。e-max のような透明感はありません。



② e-max (2ケイ酸リチウム製 クラウン) 審美性に強度を兼ね備えた材料です。小臼歯部まで単冠のみ可能 (¥60,000／1本あたり)



③ 前歯部のブリッジの場合 ジルコニアフレームに陶材を盛り足すことにより、天然歯に近い透明感を再現させることができますオールジルコニアに比べて審美的です。 (¥85,000／1本あたり)



## 1 8K金合金を用いた鋳造修復法

ゴールドインレー（クラウン）とは主に保険外の場合に使用される、金合金や白金加金(金にプラチナを加えたもの)で作られたインレー（クラウン）です。

これらの貴金属は非常に鋳びにくいため、保険の金属の問題点であった金属の溶け出しによる二次的な虫歯、歯や歯ぐきの変色、金属アレルギーが非常に少ない特徴があります。

また、硬さや、熱膨張率も天然歯に近く、適合も優れるというメリットがあります。

ゴールドインレー・アンレー（小臼歯）：¥30,000

ゴールドインレー・アンレー（大臼歯）：¥45,000

ゴールドクラウン：¥60,000

